

令和2年度 学校経営シラバス

北海道美瑛高等学校

めざす学校像 (学校経営方針)	めざす生徒像 (学校教育目標)
明るく活力のある学校 1 学校課題を共有し、常に改善を志向し、協働的・効率的な学校運営を推進する。 2 生徒の学習意欲の向上に努め、主体的・対話的で深い学びに取り組む学習態度を育成する 3 学校の教育活動について広く情報を発信し、地域に信頼され、地域の期待に応える学校づくりに努める。 4 高い洞察力和先見性を持ち、地域に根ざした特色のある教育活動を展開する。 5 教職員個々の資質を向上し、学校の教育内容の一層の充実と教育活動の活性化を図る。	未来に大きく羽ばたく人間をめざして 1 自ら意欲的に学び、努力する人間 2 自然を愛し、思いやりのある人間 3 心身を鍛え、協働する人間 の育成

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教 育 活 動	学習指導	○基礎・基本の定着と意欲的・主体的に取り組む学習態度の育成	①基礎・基本の確実な定着を図り、生徒の学習意欲の向上と学習習慣の定着を図る指導方法を工夫する。 ②主体的・対話的で深い学びを生み出す授業改善と指導方法の工夫に努める。 ③学習評価の工夫・改善を図る。	①各教科において個に応じたきめ細かな学習指導が行われたか。 ②授業研究や教材開発などに積極的に取り組んだか。 ③生徒の適性や能力を的確に把握し学習指導に生かすことができたか。
	生徒指導	○社会力に富む、精神的に自立した人間性と健やかな体の育成	①生徒理解を基本とした生徒指導を推進する。 ②教職員の協働により、生徒一人一人に規範意識をもたせ、自律的態度を身に付けさせる。 ③学校行事や部活動を通して積極性や社会性の涵養に努める。	①日常生活を通して自己管理能力や規範意識の育成が図られたか。 ②生徒理解のために教職員の共通認識や情報共有が十分に図られたか。 ③地域行事、ボランティア活動等への参加により、豊かな人間性を育むことができたか。
	進路指導	○進路目標実現に向けた指導体制の充実とキャリア教育による社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成	①生徒のニーズに応じた進路指導を徹底し進路目標を実現する。 ②望ましい職業観・勤労観を身に付けるため系統的なキャリア教育を推進する。	①進路情報を共有し進路実現のために計画的かつ組織的な支援・指導ができたか。 ②分掌・学年及び地域と連携した系統的計画的なキャリア教育が行われたか。
	健康・安全指導	○健康な心身と危機対応能力を育成する。	・関係機関と連携・協力し健康・安全教育の充実を図る。	・教科・特別活動等による指導及び関係機関の協力による各種教室等の実施により健康安全意識が醸成されたか。
	特別支援教育	○共生社会に向けた態度の育成を推進する。	・生徒支援委員会を中核とした指導・支援体制の充実を図る。	①教職員の共通認識のもと、校内体制を確立することができたか。 ②個別の支援計画の作成に努めたか。
学 校 運 営	信頼される学校づくり	○保護者・地域との連携・協働による教育活動の展開と地域社会との交流促進による地域貢献	①学校HPを中心とした学校情報を積極的に発信する。 ②地域の教育力を活用し教育活動を円滑に推進するとともに学校の教育力を地域に還元する。 ③各学校段階間の連携・接続を推進する。	①保護者・地域に対しての具体的な情報発信がされたか。 ②コミュニティスクールによる地域と一体となった教育活動が推進されたか。 ③主に地元中学校との連携が図られたか。
	組織運営	○組織体（チーム）としての協働体制に基づく、明るく活力のある学校づくりの推進	①対話を重視した職場づくりを推進し教職員間の信頼関係を深める。 ②ミドルリーダーを養成し学校経営参画意識を高揚する。 ③教職員の個別の状況把握と業務改善及び健康安全管理に努める。	①課題意識が共有され解決・改善に向けた協働体制がとられたか。 ②学校組織における自己の役割・責任を認識し校務の効率化が図られたか。 ③教職員が本来担うべき業務に専念できる環境が整備されているか。
	教職員の資質向上	○授業力及び生徒指導力の向上 ○人として信頼される教師の育成 ○教育公務員としての自覚の深化	①教科指導力の向上を図るため研修機会の確保に努める。 ②面談や授業観察を活用し適切な指導・助言を行う。 ③法令遵守を徹底し服務規律に係る啓発・指導に努める。	①授業研究や校内研修を充実し校外研修への参加促進が図られたか。 ②授業公開・生徒による授業評価を活用した授業改善の促進が図られたか。 ③教育公務員としての自覚に基づく倫理観が醸成されたか。